※ 見本ですので、出来上がった「example.docx」と見比べてみてください。

見本

第１　節の説明

ここに文章を書きます。

１　次に

ここに文章を書きます。

⑴　次の次に

ここに文章を書きます。

ア　そのまた次に

ここに文章を書きます。

(ｱ) 最後に

ここに文章を書きます。

ここは二番目に大きな節と同じ字下げになります。

３　ここは「　３＿…」となるはずです。

第２　左寄せ、中寄せ、右寄せの説明

左寄せ（節の字下げなどは無視されます。）

中寄せ（節の字下げなどは無視されます。）

右寄せ（節の字下げなどは無視されます。）

第３　段落等の配置の説明

段落の上に空行が1行入ります。

段落の下に空行が1行入ります。

この段落は行間が3割ほど狭くなっています。分かりやすいようにちょっと引き延ばして長めの文章にしておきます。

基本の字下げ1文字なので、これで字下げが無くなります。

これで段落全体の左端が1文字分だけ右に寄ります。分かりやすいようにちょっと引き延ばして長めの文章にしておきます。

これで段落全体の右端が1文字分だけ左に寄ります。分かりやすいようにちょっと引き延ばして長めの文章にしておきます。

v=1は「v=1」とそのまま表示されます。

第４　段落の説明

ここが第1段落です。

ここは第2段落です。

ここから、（←ここの改行は無視されます。）ここまで1つの段落です。

例えば、句読点の位置で改行すると、読みやすくなります。

ここと  
ここは別の行です。

ここと  
ここは別の行です。

第５　改ページの説明

第６　文字装飾の説明

ここは普通ここは普通

ここは普通*ここは斜体*ここは普通

ここは普通**ここは太字**ここは普通

ここは普通***ここは斜体かつ太字***ここは普通

ここは普通~~ここは打消線が消される~~ここは普通

ここは普通ここはゴシック体ここは普通

ここは普通ここは下線が引かれるここは普通

ここは普通ここは文字が大きいここは普通

ここは普通ここは文字が小さいここは普通

ここは普通ここは文字が白で見えないここは普通

ここは普通ここは文字が赤いここは普通

ここは普通ここは文字が赤いここは普通

ここは普通ここは文字が赤いここは普通

ここは普通ここは背景が黄色いここは普通

ここは普通ここは背景が黄色いここは普通

なお、色は、赤（red / R）、暗い赤（darkRed / DR）、黄色（yellow / Y）、暗い黄色（darkYellow / DY）、緑（green / G）、暗い緑（darkGreen / DG）、シアン（cyan / C）、暗いシアン（darkCyan / DC）、青（blue / B）、暗い青（darkBlue/ DB）、マゼンタ（magenta / M）、暗いマゼンタ（darkMagenta / DM）、明るい灰色（lightGray / G1）、暗い灰色（darkGray / G2）、黒（black / BK）が使えます。

第７　表の説明

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 第1項目 | 第2項目 | 第3項目 |
| ここは左寄せ | ここは中寄せ | ここは右寄せ |
| ここは左寄せ | ここは中寄せ | ここは右寄せ |

なお、表の文字は小さめにしてあります。

第８　ゴシック体でそのまま表示（プログラムコードなどの表示）

[Python]  
x = 1  
if x == 1:  
 print('YES')  
else:  
 print('NO')

第９　画像の挿入の説明







ここ「)」に画像が入ります。